



閑想深感とデジタル情報

中友会会長 岡野 仁司

中友会が設立されて46年目を迎えます。ご案内のように本会の目的は会員の親睦・互助を深め、生涯学習の充実を図ることです。

30余年にわたる教職生活を送ってきた我々は退職してから、ふと「教育」の二文字を忘れないなと思つてもなかなかできないのが現実ではないでしょうか。25時間にプログラムされた体内時計での一時の閑ができたときに、いろいろな空間で自己の周囲から始まって宇宙に存在する小惑星のことにまで想いを馳せることができます。

近年、スマートフォンやタブレット端末が普及し、屋内外で様々な情報を収集し、また発信するという便利な社会に進化しています。デジタル情報社会において、中友会でも年を追うごとに会員の平均年齢が確実に上がっていますが、デジタル機器を扱い慣れている会員も増えてきています。

私は、インターネット上においても、中友会会員の絆を構築したいとかなり前から念じていました。会員の皆さんへの情報発信は年3回の「会報」が柱になつておりますが、その発行間隔を補完する機能を果たすものにホームページ（以下HP）があります。会員の生涯学習活動等の情報も提供して、生きがい感の増進を図るとともに本会の使命、存在感・認知度を広報することを目的として開設を企画しました。

今後のHPの更新・管理は、作成・開設に尽力していただいた八島前幹事長が快く引き受けてくれました。

即時性、更新性、適時性を基本にして会員の皆さんの立場に立脚した、閲覧しやすい、扱いやすく、有用なコンテンツを目指します。



去る6月1日の第46回定期総会においてHPの予算案が承認され、公式HPの開設日が6月1日となりました。

これからは「ホームページ」や「会報」を通して会員のお祝い事、お悔やみ、生涯学習活動などの情報を共有していただきたい。また、「総会・懇親会・忘年会」等を通して同期的な雰囲気や趣味・特技などの知／智の連鎖を広げていただきたい。そして「日帰り／宿泊研修」などの行事に参加して、これまでに蓄積してきた知のストックに活力を与え、生きがい感を満喫してください。そして「合祀慰靈祭」は第1回が昭和42年に護国寺で當まれ、爾来3年ごとに、ご逝去会員の遺徳を偲び追善供養をしております。ご遺族の方々にも多数ご参列いただいていますが、会員の皆さんも、逝去された先輩・同輩・後輩を偲び、追悼のひととを過ごすことにより本慰靈祭が一層意義深いものになると自負しております。「会員ギャラリー」のページにご自慢のフォト、動画、絵画、書などを奮つて投稿してください。お待ちしております。

開設に当たつてのコンセプトは次の通りです。

- 1 見やすく、わかりやすい会員目線の内容にする。
- 2 閲覧してストレスや戸惑いを感じさせない表現にする。
- 3 ブログ的な書き込みページは、対応できないので避ける。
- 4 有志会員の奉仕で保守・管理をしていく。

